

<b>取扱説明書</b>		図番	6220K-01A
品名	CF-5TL-JT	CAD	PC-01/D/6200
対応ケーブル	5C-FL・5C-HFL・S-5C-HFL・指定3重シールド	発行年月日	2008年3月10日

① 準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイフ（カッター）</li> <li>・ニッパー</li> <li>・挿入治具 T-FX-5</li> <li>・スパナ（口幅 14mm）</li> <li>・トルクレンチ</li> </ul> <p>14×7.85N・m(8N・mまたは80Kgf/cm) 13×1.96N・m(2N・mまたは20Kgf/cm)</p>	<p>コネクタ構造図</p>
② 組立作業	<p>アルミラミネートシールドケーブル</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>コネクタの締付金具を使用ケーブルに挿入します。</li> <li>ケーブルの外被と外部導体(アルミ箔)をナイフで30mm切り取ります。  <p>注意：絶縁体に深い傷を付けないようにして下さい。</p> </li> <li>絶縁体を軽く揺すり、絶縁体と外部導体の間に隙間を作りフェルールを入れやすくします。</li> <li>専用工具(T-FX-5)にフェルールをセットします。  </li> <li>フェルールを絶縁体と外部導体の間に挿入します。                      注意：ケーブルの外被にフェルールのツバが密着するまで挿入して下さい。</li> <li>ナイフでケーブルの絶縁体をフェルールの端面で切り取ります。                      注意：中心導体に傷を付けないようにして下さい。</li> </ol> <p>※フェルールを密着させる</p> <p>※絶縁体を切断</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>T-FX-5の孔にケーブルの中心導体を入れ、突出した部分をニッパーで切断します。(中心導体寸法：9mm)  <p>※ニッパーにて切断する</p> </li> <li>ケーブルの中心導体を曲げないようにコネクタ本体にフェルールを挿入し、締付金具を手で仮締めします。</li> <li>締付金具をスパナで固定し、<u>8N・m(80kg・cm)</u>のトルクレンチで本体を確実に締付けます。  </li> </ol>	<p>指定三重シールドケーブル</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>コネクタの締付金具を使用ケーブルに挿入します。</li> <li>ケーブルの外被と外側のアルミ箔をナイフで30mm切り取ります。  <p>注意：編組に傷を付けないようにして下さい。</p> </li> <li>ケーブルの編組を折り返します。</li> <li>専用工具(T-FX-5)にフェルールをセットします。  </li> <li>フェルールを内側アルミ箔と編組の間に挿入します。                      注意：折り返した編組にフェルールのツバが密着するまで挿入して下さい。</li> <li>ケーブル編組の折り返し部分を切断します。</li> <li>ナイフでケーブルのアルミ箔と絶縁体をフェルールの端面で切り取ります。                      注意：中心導体に傷を付けないようにして下さい。</li> </ol> <p>※フェルールを密着させる</p> <p>※絶縁体を切断</p> <p>※編組を切断(フェルールの近くで切断)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>T-FX-5の孔にケーブルの中心導体を入れ、突出した部分をニッパーで切断します。(中心導体寸法：9mm)  <p>※ニッパーにて切断する</p> </li> <li>ケーブルの中心導体を曲げないようにコネクタ本体にフェルールを挿入し、締付金具を手で仮締めします。</li> <li>締付金具をスパナで固定し、<u>8N・m(80kg・cm)</u>のトルクレンチで本体を確実に締付けます。  </li> </ol>
	③ 取付	<p>※ コネクタを機器に接続する場合は、規定のトルクレンチを使用して締付けて下さい。</p> <p style="text-align: center;"><b>標準締付トルク：2N・m(20Kgf・cm)</b></p>